

## ◀ 資料1 財政推計 ▶

### 財政推計の見直し

今後の財政推計の見直しは、内閣府による「中期財政フレーム」及び「経済財政の中長期試算」を参考とし、行財政改革による効果額を加味して、合併特例期間が終了するH32までの大まかな財政収支を機械的に試算したものです。ただし、東日本大震災後の経済情勢や、「社会保障・税一体改革」等については依然不透明であるため、考慮していません。行財政改革の確実な実行により、H28末には約20億円の財政調整基金を確保します。また、今後、社会情勢の変化や、決算状況等により、毎年度、財政推計の見直しを行います。

#### ◆財政推計

(単位：百万円)

区 分	H23(予算)		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	繰越分	現年分	(予算)									
歳入	(1)市税・交付税・臨財債等		25,710	25,455	25,400	25,500	25,300	25,000	24,800	24,500	24,000	23,700
	(2)国県支出金	500	8,562	7,978	8,200	8,300	8,300	8,400	8,500	8,600	8,700	8,800
	(3)起債(通常債)	180	2,922	2,796	3,900	3,600	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	(4)繰越金	620	651									
	(5)その他収入		2,554	2,333	1,600	1,600	1,600	1,600	1,700	1,700	2,000	2,000
	うち基金繰入金		894	711	130	130	130	130	230	230	530	460
	計	1,300	40,399	38,562	39,100	39,000	37,200	37,000	37,000	36,800	36,700	36,500
歳出	(1)義務的経費		21,739	21,429	21,350	21,550	22,300	21,900	22,000	21,950	22,000	21,400
	①人件費		8,261	7,696	7,600	7,600	7,700	6,900	6,900	6,900	7,000	6,800
	うち職員給与等		5,893	5,873	5,841	5,747	5,604	5,364	5,356	5,326	5,269	5,167
	うち退職手当		1,353	917	973	1,027	1,189	675	757	865	1,000	865
	②扶助費		7,974	8,144	8,450	8,650	8,900	9,100	9,200	9,350	9,500	9,600
	③公債費		5,504	5,589	5,300	5,300	5,700	5,900	5,900	5,700	5,500	5,000
	(2)投資的経費	1,200	5,844	5,431	6,500	6,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
	①普通建設事業費	1,200	5,819	5,400	6,500	6,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
	②災害復旧費		25	31								
	(3)その他経費	100	13,160	12,081	11,500	11,200	11,100	11,100	11,000	10,800	10,800	10,800
	計	1,300	40,743	38,941	39,350	39,250	37,900	37,500	37,500	37,250	37,300	36,700

#### ◆収支、財政調整基金現在高

収支(歳入－歳出)	△ 344	△ 379	△ 250	△ 250	△ 700	△ 500	△ 500	△ 450	△ 600	△ 200
前年度決算剰余金	700	200	200	200	200	200	200	200	200	200
財政調整基金現在高	3,100	2,921	2,871	2,821	2,321	2,021	1,721	1,471	1,071	1,071

#### ◆起債現在高

区 分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
起債借入額	4,589	4,314	5,100	4,800	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200
元金償還金	4,855	4,978	4,600	4,600	5,000	5,300	5,300	5,000	4,800	4,400
起債現在高	44,770	44,106	44,606	44,806	43,006	40,906	38,806	37,006	35,406	34,206
プライマリーバランス	266	664	△ 500	△ 200	1,800	2,100	2,100	1,800	1,600	1,200

#### ◆主要基金の状況

区 分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
減債基金	△ 320	△ 421	△ 20	△ 20	△ 20	△ 20	△ 20	△ 20	△ 20	△ 20
現在高	2,333	1,912	1,892	1,872	1,852	1,832	1,812	1,792	1,772	1,752
地域振興基金							△ 100	△ 100	△ 300	△ 300
現在高	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	2,900	2,800	2,500	2,200
退職手当基金	△ 200	△ 200	△ 100	△ 100	△ 100	△ 100	△ 100	△ 100	△ 200	△ 100
現在高	1,118	918	818	718	618	518	418	318	118	18

#### ◆財政健全化指数の状況

区 分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
実質公債費比率	8.8%	8.5%	8.2%	8.0%	7.8%	7.8%	7.9%	7.6%	6.9%	5.8%
将来負担比率	66.5%	64.1%	61.1%	55.3%	63.9%	72.4%	84.4%	100.8%	116.9%	130.9%

◆財政推計の方法

歳入	(1) 市税・交付税・臨時債等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「中期財政フレーム」によるH24～H26の一般財源総額の水準維持を踏まえ同額で推移</li> <li>・H27以降は普通交付税を合併算定替え終了により減額</li> <li>・優良債活用による、普通交付税算入額を反映</li> </ul>
	(2) 国県支出金	・扶助費等歳出の伸びに連動
	(3) 起債（通常債）	・行革方針により、合併特例期間（H26まで）は、優良債の活用により増額
	(4) 基金等繰入金	・退職手当基金の活用、H29以降地域振興基金の活用
	(6) その他収入	・ほぼ同額に推移
歳出	(1) ①人件費	・職員定数等を考慮し総人件費の抑制による行革目標値
	(1) ②扶助費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活保護扶助費を過去の受給者数の伸率で推計</li> <li>・障がい福祉扶助費、子供医療費等の伸率を反映</li> </ul>
	(2) 投資的経費	・行革方針により合併特例期間中に優良債活用により建設事業の前倒し施行
	(3) その他経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別会計繰出金は、社会保障費関係（国民健康保険事業、介護保険事業）の増額を反映</li> <li>・その他特別会計（下水道事業等）は所要の繰出金額を計上</li> <li>・物件費、維持補修費、補助費等は今後の所要額見込みを計上</li> <li>・出資金は市民病院建設及び浄水場更新に係る出資金見込み額を計上</li> </ul>